

令和6年度 地域の元気づくり（健康づくり・介護予防）事業報告書

井原市老人クラブ連合会

①地域の概況	井原市老人クラブ連合会は、令和6年4月1日現在、会員数2,810名、単位老人クラブ総数52である。 井原市全体としては、同年3月末時点で ・人口 37,149人 ・世帯数 16,673世帯 ・高齢者数 11,445人 ・高齢化率 38.0% なお、今年度の補助対象地区である「美星地区老人クラブ連合会管内」（旧美星町）の人口は3,433人、世帯数1,582世帯。 単位老人クラブ数14、会員は482名である。
②活動状況	行事名 美星地区老連夏季グラウンド・ゴルフ大会 実施日時 令和6年6月22日（土） 8:30～12:00 会場 中世夢が原公園 参加人員 121人 内 容 夏季交歓親睦グラウンド・ゴルフ大会 行事名 美星地区老連秋季グラウンド・ゴルフ大会 実施日時 令和6年11月4日（月） 8:30～12:00 会場 中世夢が原公園 参加人員 98人 内 容 秋季交歓親睦グラウンド・ゴルフ大会 岡山県老人クラブ連合会の補助金を頂く中で、夏と秋の年2回にわたり、地元の美星・中世夢が原管理協会等の協力のもと、地域会員の親睦と交流のグラウンドゴルフ大会が、参加者の怪我もなく全員無事故で盛会に開催できた。 美星地区老連全体の14地区、会員数総勢482名から、2回の大会に実数として、地区連合クラブ会員の約3分の1の参加者を得た。
③活動の効果	・ 全体として、1割程度のグラウンド・ゴルフ競技への新規参加者が実現。 ・ 参加者の競技レベルの向上の機会を確保できた。 ・ 改めてグラウンド・ゴルフという種目の、ルールとマナー、エチケットを学ぶ機会ができた。 ・ 開催場所が通常「公園」で一般開放されている中、地区内の会員の協力のもと、公園の一部をグラウンド・ゴルフ場として整備することができた。 ・ 出来上がったコースは、地形上、自然な起伏とそこに生えている松などの障

	害物が最善に組み合わせたり、市内の他の運動場にはない面白さが体験できるグラウンド・ゴルフとなった。 ・参加者の絶えない笑顔と、コミュニケーションの場となった ・普段の暮らしを離れ、和気あいあい楽しい時間を共有できた。
④ 課題・問題点	・クラブの持ち方、フォーム・姿勢の取り方、目標のホールポスト目指してどう打つか、15メートルから50メートルの距離感のつかみ方など、初心者を含め中級者のための「グラウンド・ゴルフ教室」の開催の必要性を感じた。 (会員のグラウンド・ゴルフ技術の向上とゲーム会員の確保～仲間を増やす、他地域の交流促進なども課題) ・専属コース(道具さえあればいつ行ってもプレー可能)の必要性を感じた。 (井原市内には、四季が丘に井原市の施設が1か所あるが、当地域から車で片道20分程度要する) ・高齢期に手軽(時間・経費等)に楽しめる健康づくりスポーツとして、要介護状態にならぬ「フレイル予防対策」として、行政等の基礎的財政支援があっても如何と感じた。
⑤ 今後の進め方	・継続的な大会の実施 ・技術やマナー・ルールの伝承 ・この補助活用を通し、地域として気軽に取り組める高齢期の継続的な運動に加え、バランスの取れた栄養の取り方研修、地域のつながり・交流の場としての取組み、子どもを含む3世代間の交わりの拡大などの取組を視野に検討を続けたい。



